

2025年3月

2025年度 介護老人福祉施設サルビア 事業計画

介護老人福祉施設サルビア

施設長 清澤 秀彦

1. 運営方針

入居者を管理するのではなく、「日常生活の継続」を基本に、入居者の「個性を大切に」しながら、「プライバシーとプライドを守るケア」を行い、入居者が「自分らしく生きること」を支援します。

2. 施設目標及び行動計画

(1)「生産性を高めるための業務改善」を3か年計画で進める(2年目)

○間接業務の効率化

- ・スッキリ向上委員会による改善活動(簡素化・効率化・平準化)の継続
- ・インカム、記録システムのリニューアル及び音声記録入力化、同意書の電子化検討
- ・DXの推進と並行して、誰でも使いこなせる環境整備

○タスクシフト(間接業務の移管)の促進

- ・サポートチームの機能強化(専門職が専門性の高い業務に集中できる体制づくり)

《参考》1年目(2024年度):意識共有・業務の洗い出し・簡素化(工程をシンプルにして“ムリ”をなくす)

2年目(2025年度):間接業務の効率化(不要な工程“ムダ”をなくす)平準化(偏り“ムラ”をなくし均等に)

3年目(2026年度):現状の再調査→モデルの構築と検証(モデルフロアでの検証)→横展開

⇒ 介護職員の常勤換算 52.5 でもハイパフォーマンスな支援(2024年3月現在:介護職員の常勤換算 54.8)

(2)ケアスキルの質を高める

○ジョブローテーション及び他施設交流の実施

- ・他部署とのジョブローテーションや他施設交流により、ケアの視野を広げる

○「新サルビア流ユニットケア～ケア方針テキスト～」とデータを基にした支援

- ・テキストに基づいた職員教育及びケアの目線合わせの実施
- ・LIFE や IT 機器から得たデータに基づくケア計画の作成

○“3スグ(スグ連携・スグ判断・スグ実行)+ゼン共有(全体共有)”の意識化

- ・入居者の状態変化に対する迅速な対応+関係職員間の情報共有の徹底

(3)オーダーメイドの支援

○入居者個々の希望を叶える取り組みの実施

- ・入居者及び家族への定期的な意向確認
- ・日々のこだわりや外出支援等、入居者個々の希望に応じた支援の実施
- ・クラブ活動やイベント等の更なる充実

3. 年間行事予定

①サルビア祭り(年1回)

②家族会及び家族向け勉強会(年1回)

③ユニット毎の催し(随時)

誕生日会をはじめとする入居者の希望に応じたイベント、他

④ボランティアの協力による催し(随時)

サルビアサロン、各種クラブ活動、コンサート、織い物、他

⑤季節の行事

繭玉作り(1月)、節分(2月)、観桜会(4月)、七夕(8月)、敬老会(9月)、焼き

芋会(11月)、クリスマス会(12月)、餅つき(12月)、他

⑥地域交流

梓川氷室地区の児童との交流、梓川小学校PTAとの交流、梓川地区民生児童委員及び

梓川地区ボランティアによるボランティア活動、保育所さるびあ園児との交流、他

4. 研修予定

①全体研修、訓練

感染症対策(訓練含む):2回/年、災害対策(訓練含む):2回/年、事故対策:概ね1

回/月、権利擁護・高齢者虐待防止・身体拘束廃止:2回/年、終末期ケア:1回/年、

医療的ケア(褥瘡予防、喀痰吸引・胃ろう等):1回/年、認知症ケア:1回/年、その

他:適宜

②新人教育

採用時研修:法人全体3日間特養1日間、介護技術研修2回/年、排泄ケア研修1回/年、

チューター制度:1年間

③法人内事業所交流研修、他施設交流研修(ジョブローテーション)

松本地域ユニット型施設交流研修「ほっとケアの会」の再開、法人内事業所交流研修、

他施設交流研修の検討

④その他

職員各自の目標に沿った研修参加(ネット配信研修活用、直接参加、オンライン参加)

以上

2025年度 あんじゅり事業計画

住宅型有料老人ホームあんじゅり/あんじゅり AW

管理者 土屋 麻奈美

1. 運営方針

ここは安住の里～我が家～そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします。
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします。
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2. 事業所目標及び行動計画

- ① 入居者に寄り添った居心地の良い環境づくり。
 - ・定期的に振り返りを行い、尊厳あるケアの維持に取り組む。
 - ・家族や入居者からの相談、意見を聞き取り、早めの対応解決に努める。
 - ・行事、レクリエーションの充実。
 - ・定期研修、外部研修へ積極的に参加し、サービスの質の向上に活かしていく。
- ② 安定した稼働を目指す。
 - ・引き続き、利用者の状況に合わせたサービス内容の見直し、業務改善を行っていく。
 - ・外部訪問の継続。
 - ・他事業所と密に連携体制をとる。

3. 年間行事予定

- ① 住宅型有料老人ホーム運営懇談会:1/年
- ② 季節ごとの行事:1/月
 - 1月繭玉作り 2月豆まき 3月ひな祭り 5月花植え
 - 6月ラベンダースティック作り 7月七夕飾り 8月納涼会
 - 9月敬老会 12月クリスマス会 等
- ③ 避難訓練:2/月
- ④ 教育・研修予定
 - 全体研修
 - 感染症予防:2回/年、災害:2回/年、虐待防止・身体拘束廃止:2回/年、認知症ケア:1回/年、苦情:1回/年
 - 個人研修
 - 各々でキャリアパスに沿って個人年間研修計画を作成(4月)
 - 計画に沿って研修を行う。

以上

2025年度 泉の里 事業計画

住宅型有料老人ホーム泉の里/いずみのさと AW

管理者 奥原和幸

1・運営方針

- ・ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと
- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2・事業所目標及び行動計画

- ① 業務改善の取組みを継続し、入居者個々に沿った質の高いサービスが提供できる。
 - ・スキルを活かした質の高いケアが提供できるよう、業務の簡素化、標準化、平準化をヘルパー会議で検討する。
 - ・向上志隊(委員会)との連携から生産性向上を高める取り組みを行う。
 - ・訪問介護サービスの見直しから提供に反映し、収益の安定化を図る。
- ② 笑顔と満足を得る機会を増やすことができる。
 - ・参加型中心の企画を立案し、入居者の希望に沿った、行事やレクリエーションを行う。
 - ・泉の里を知ってもらえるようSNSを活用した発信を増やす。
 - ・外部のボランティアの活用。
- ③ 職員個々のスキルが向上できる。
 - ・認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症ケア専門士
終末期ケア専門士、口腔ケアマイスター、喀痰吸引の取得に努める

3・年間行事予定

- ① 1回運営懇談会を行い、入居者、ご家族様、民生委員、近隣の方からのご意見を運営に反映させるようにする。
- ② 季節の行事
繭玉作り(1月)、ひな祭り(3月)、お花見会(4月)、花植え(5月)、七夕祭り(7月)、夏祭り・スイカ割り(8月)、敬老の日(9月)、ハロウィーン(10月)、焼き芋会(11月)、クリスマス会・演奏会(12月)
- ③ 季節ごとの特別メニューの提供
(おやつレク月1回、正月、敬老の日、クリスマス行事食)
季節湯の実施(リンゴ湯、ゆず湯等実施) 避難訓練(年2回)

4・研修予定

- ① 全体研修
感染対策(訓練含む):2回/年、災害対策(訓練含む):2回/年、虐待防止・身体拘束廃止:2回/年、認知症ケア:1回/年、苦情窓口1回/年
その他:認知症基礎教育(4大認知症、周辺症状、接遇等)
- ② 個人研修 各々で個人研修を作成し、計画に沿って研修を行う。

以上

2025年度 愛香里 事業計画

住宅型有料老人ホーム愛香里/あかりAW

管理者 水谷 奈美江

1. 運営方針

ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣、食、住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします

2. 事業所目標及び行動計画

① 安心して生活できる環境、心身の状態に合わせた対応をする

- ・モニタリングにより早期に問題解決して入院を防ぐ
- ・自立支援から看取りまで過ごせるように支援する
- ・家族が納得して安心できる情報提供や相談体制を作る
- ・柔軟な対応ができるように職員の教育
- ・設備管理、定期的なメンテナンスにより早めの改善

② 選ばれる施設になり介護サービスの安定提供

- ・他施設との差別化を明確にして魅力の発信
- ・定期的な研修により介護の質の向上
- ・地域、外部との交流により認知度を高める
- ・活用できる ICT 技術の導入で業務効率化を図る

3. 年間行事予定

① 運営懇談会(年1回)

② 避難訓練(年2回)

③ 季節の行事

繭玉作り、書初め(1月)、豆まき(2月)、お花見(4月)、七夕(7月)

スイカ割り、花火鑑賞(8月)、敬老会(9月)、ハロウィン(10月)、クリスマス会(12月)(利用者と一緒に

計画、実行などの過程を行う)

その他随時おやつレクリエーション、外部ボランティアを実施

4. 教育、研修予定

① 全体研修、訓練

感染症対策(訓練含む):2回/年、災害対策(訓練含む):2回/年

権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止:2回/年、認知症ケア:1回/年

苦情窓口:1回/年 その他:適宜

② 個人研修

個人研修計画に沿った研修参加

2025年度 千歳緑 事業計画

サービス付き高齢者向け住宅千歳緑/ちとせみどり AW

管理者 北澤 知美

1・運営方針

わたしらしく、いつまでも

- ・安心して暮らしができる環境を作ります
- ・住み慣れた地域で暮らすことができる支援をします
- ・生きがいを持ち続けることができる支援をします

2・事業所目標及び行動計画

- ① 入居者の希望を尊重し、身体的・精神的なサポートをする
 - ・担当によるアセスメントの実施とヘルパー会議での共有
 - ・積極的にコミュニケーションを図る
 - ・多職種との連携
 - ・外部ボランティアの回数を増やす
- ② サービスの質の向上を目指す
 - ・職員の担当制によるレクリエーションの企画実施
 - ・ケアの統一(手順書の定期的な見直し)
 - ・各種研修参加の推進
 - ・地域との関わりを更に増やす
- ③ 増収増益を目指しての運営
 - ・他事業所との協力体制
 - ・介護保険サービスを見直し収益に繋げる
 - ・光熱費の節約

3・年間行事予定

- ① 運営懇談会(年1回)
- ② 避難訓練(年2回)
- ③ 季節の行事(年10~12回)

4・教育、研修予定

- ① 全体研修、訓練
感染症対策(訓練含む):2回/年、災害対策(訓練含む):2回/年
権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止:2回/年、認知症ケア:1回/年
苦情窓口:1回/年 その他:適宜
- ② 個人研修
個人研修計画に沿って参加

以上

2025 年度 グループホームサルビア 事業計画

グループホームサルビア
管理者 西澤 守隆

1. 運営方針

地域資源を利用し地域との連携を図りながら、馴染みの関係の中で、自分の役割や居場所があり、我がままに暮らせ、自分が必要とする時にそばに必ず心を寄せてくれる人がいて、その関わりが「申し訳ない」と感じさせない暮らしを共にします。

2. 事業所目標及び行動計画

①おたっしゃカフェの充実

- ・おたっしゃカフェの内容を検討し、地域の方の意見も参考にしていく。
- ・開催頻度の検討をする。
- ・おたっしゃカフェを開催時には SNS での発信をしていく。

②生産性向上を図る

- ・すっきり向上委員会の委員と共に、事業所全体として取り組んでいく。

③入居者と一緒に楽しもう

- ・入居者のできそうなことを探っていき、一緒におこなっていく。
- ・おやつ作りなど入居者を交えて一緒に作っていく。
- ・外出を計画していく。

3. 年間行事予定 ※コロナの状況により開催の判断とする

- ① 運営推進会議 年 6 回 (2 か月に 1 回)
- ② おたっしゃカフェ 奇数月第 4 金曜日
- ③ サルビア祭り
- ④ 避難訓練 年 2 回
- ⑤ お花見、バラ園見学
- ⑥ 入居者お楽しみ会 月 1 回

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

感染対策研修、災害(火災・水害等)身体拘束廃止・虐待防止研修:各 2 回/年
認知症研修、事故対策、その他研修

② 外部研修

- ・認知症介護実践者研修
- ・長野県宅老所・グループホーム連絡会主催の研修 等

2025 年度 居宅介護支援事業所サルビア 事業計画

居宅介護支援事業所サルビア

管理者 船坂 菜津子

1. 運営方針

利用者の尊厳を尊重します。

利用者が自由にサービスを利用出来るようにお手伝いします。

思いやりの心を持った介護支援専門員を目指します。

2. 事業所目標及び行動計画

① 地域の方が立ち寄れる相談窓口となる。

・事業所の移転に伴い、よりみちのイベント等を通じて、来所者と顔見知りになり
居宅介護支援事業所・相談窓口の存在をアピールする。

・さんぼみちと協働し、地域住民の複合的な相談支援を行えるよう事業所の体制を整える。

・介護者の集いの継続的な開催

② 安定した事業所の運営

・ケアマネ一人当たりの担当利用者数(要介護に換算)が常勤 1 人当たり 40 件、
非常勤 1 人当たり 25 件を目指す。

・ICT の活用 ケアプランデータシステムの導入。

・内部研修、外部研修を通して専門性を高める。

3. 年間行事予定

介護支援専門員会議(毎週火曜日)

介護者の集い開催

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修(3事業所合同勉強会)

在宅でのターミナルケア

認知症 感染対策 虐待対応 災害対策

事例検討

② 外部研修・勉強会

精神疾患 生活困窮者支援 メンタルヘルス 難病ケアマネジメント

他法人との事例検討会等

ケアマネ勉強会(ケアマネなんでも相談会)

地域包括支援センター主催の勉強会

以上

2025 年度 ヘルパーステーションサルビア 事業計画

ヘルパーステーションサルビア
管理者 小澤 倫世

1. 運営方針

その人がその人らしく、安心して住み慣れた家で、自立した生活ができるよう、笑顔と思いやりの心をもって支援します。

2. 事業所目標及び行動計画

① ICT の活用により業務改善と効率化を図る

- ・1訪問ごとの記録や情報の共有化で次回の訪問へつなげるとともに、関係機関への情報提供を速やかに
行います
- ・その場でできる記録はその場で行い、必要な記録(細やかな記録)や書類を残す
- ・月末処理に係る時間を削減するとともに正確な実績報告をあげる

② 訪問介護事業所の安定した運営を目指す

- ・グループ内での連携体制を整え、サービス対応力の拡充をする
 - ・訪問時間以外の活用と、事業所内とグループ内での会議や研修の開催によりサービスの向上を目指す
- ・事業所内での役割を明確にし、円滑に業務を遂行します
- ・サービスの空き状況の発信をします

3. 年間行事

月1回のヘルパー会議

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

在宅でのターミナルケア・認知症・感染症の勉強会、合同勉強会

② 研修

感染症予防、身体拘束廃止、虐待防止、認知症ケア

個人研修計画に沿って動画研修・外部研修への参加、キャリアパスに応じて参加

以上

1. 運営方針

ピンピンきらり わたしらしく、いつまでも

- ①自分のしたいことのできる支援をします。
- ②自分で選べる支援をします。
- ③自分らしい体づくりの支援をします。

2. 事業所目標及び行動計画

① 黒字に向けた運営の基盤づくりができる。

- ・一日平均利用者数31名以上の確保、且つ1回あたりの介護保険収入の増額を図る取り組み
- ・口腔機能向上加算の取得、データ管理の体制づくり
- ・個別機能訓練加算13人／日を確保
- ・経費の削減に向け、節水、節電、物品発注の見直し

② 利用者、家族、地域住民を支援する活動を行うことができる。

- ・他の介護保険事業所と協力した活動への参加
- ・ボランティアの積極的な受け入れ
- ・地域に向けた広報誌の作成
- ・家族や地域住民に貢献できる活動の企画、実行

③ 職員教育と業務の再構築

- ・チームづくりに向けた外部研修への参加
- ・マニュアルを活用した業務の統一化
- ・トリムを活用した機能維持やプログラムの更なる充実化
- ・他部署との交換研修などを通じ学びを深め、全体での共有
- ・業務時間内を利用したミニ勉強会の実施

3. 年間行事予定

① 季節の行事

繭玉作り／節分イベント／お花見送迎／畑作り／七夕飾り／流しそうめん／アイスイベント／収穫野菜で料理教室／ハロウィンイベント／干し柿作り／クリスマスイベント／餅つき／初夢ジャンボずーらくじ／行事食

② ボランティアによる行事

アロマ／麻雀／ネイル／随時

③ その他

- ・イベントお菓子、パン教室／料理教室／外出プログラムの実施
- ・地域住民、筑摩児童センターとの交流
- ・庄内地区介護保険サービス事業所との関わり

- ・アロマトリートメント、ネイル(有料)
- ・避難訓練(年二回、水害含む)
 - …地域住民参加型訓練の実施
- ・学生ボランティア(アルバイト)／職業体験受け入れ／看護実習受け入れ
- ・庄内地区研修会や行事、清掃活動や防災訓練等への参加
- ・高齢者作品展への出展

4. 教育・研修予定

- ① 全体研修、訓練
 - 感染症対策(訓練含む)…2回／年
 - 虐待防止、身体拘束廃止…2回／年
 - 災害対策(訓練含む)…2回／年
- ② 内部研修
 - PTによる研修…1回／年
 - 認知症研修…1回／年
 - その他研修…2回／年(外部講師予定)
- ③ 法人内研修
 - 新人研修
 - 随時
- ④ その他
 - 各職員2回／以上の研修参加(オンライン含む)
 - 職員各自の目標に沿い随時研修のアナウンス

以上

2025年度 保育所さるびあ 事業計画

保育所さるびあ
園長 小岩井 綾

1 運営方針

「一人ひとりが健康で安全に過ごし元気に遊べる子どもの育成」

- ・子どもたちが笑顔で元気にのびのびと安心できる保育を提供します。
- ・その子らしさを大切にしながら個々の成長を支援し、園児、保護者と保育士が信頼関係を持ち、子育て期に安心して預けていただける保育園を目指します。

2 保育園目標及び行動計画

“笑顔で元気にのびのびと” よく食べよく寝て元気よく遊ぶ

- ① 保育所さるびあの特徴を活かした保育をする
 - ・季節に応じた遊びや活動を楽しめるようにする。
 - ・豊かな自然環境に中でのびのびと子どもたちが過ごせるようにする。
 - ・人権に配慮した保育を行う。
 - ・少人数での保育のよさを活かし、一人ひとりの子どもを大切に丁寧に関わっていく。
 - ・目の前の子どもの様子から、年間指導計画、月案、個別指導計画を作成し、よりよい関わり、環境設定を行う。
 - ・サルビア交流会を行い、入居者さんとの交流をしていく。
- ② 保護者の方に安心して預けていただける保育園を目指す
 - ・コミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築いていく。
 - ・インスタを活用し、在園児だけでなく、多くの方に園の良さ、存在をアピールする。
 - ・問い合わせ時、見学時の丁寧な対応を心掛ける。
 - ・ICT化、オムツのサブスクの導入検討。
 - ・保護者に寄り添った保護者支援をする。
 - ・安心安全な保育ができているか、日々見直しを行う。
- ③ 保育士の質の向上に努める
 - ・研修に積極的に参加し、保育の学びを深めていく。
 - ・日々の保育や子どもの様子を話し合う機会を大切にする。
 - ・それぞれの経験や良さを活かし、互いを尊重しながら保育観のすり合わせをする。

3, 年間行事予定

① 季節の行事

お花見、プール遊び、サルビア祭り参加、おいも掘り、焼き芋、クリスマス会、おもちつき参加、豆まき

② その他

保育参観（年2回）

避難訓練（毎月実施）

不審者対応訓練（年2回）

身体測定（毎月実施）
内科検診（年2回）
歯科検診
誕生日会
サルビア交流会（月1回程度）

4, 職員研修

- ・保育安全研修
- ・施設長研修
- ・3歳未満児担当保育士研修
- ・保育士等キャリアアップ研修
- ・法人研修 など

以上

2025 年度 小規模多機能型居宅介護さんぼみち 事業計画

小規模多機能型居宅介護 さんぼみち
管理者 小林 俊介

1. 運営方針

～わたしらしい人生をいつまでもわたしらしく堂々と生きる～

- ・これまでの人生で培ってきた「持ち味」や「力」をさんぼみちでも発揮できる支援をします。
- ・地域に混ざり、地域とつながり、地域の方が気軽に立ち寄れる、地域の拠り所となる場所をつくっていきます。
- ・スタッフが生き生きと働ける、支え合えるチームづくりを目指します。
- ・認知症などの介護が必要な状況になったとしても、大切にしたい暮らしを送れるよう本気で向き合い一緒に歩んでいきます。

2. 事業目標及び行動計画

① 地域へ貢献ができる

- ・介護者交流会、地域住民セミナー、サポーター養成講座など地域のニーズに応じて開催をする。
- ・経営企画室と連携を図り、よりみちでの活動に職員も利用者も参加をする。
特に子供たちとの交流を図り利用者の心身の活性化を図る。
- ・氷室地区を主に公園や神社などのゴミ拾いや清掃、梓川地域での奉仕活動など年に2回以上行う。
- ・居宅介護支援事業所サルビアと協働し、地域住民からの複合的な課題やニーズに対して寄り添える相談支援ができる。

② 運営の安定化、良質なケアを目指す

- ・常時登録定員25名以上の確保を目指す。
- ・身体機能、認知機能、QOLの向上を目的にイベント、レクリエーションを計画的に実行する。
- ・活躍でき支え合える場、役割発揮の場の提供ができる。
- ・連絡会や他事業所との連携をし、「経営」「運営」「ケア」の3本柱を中心に情報共有に努め質の高い事業所作りをする。

3. 職員研修

感染対策研修

身体拘束虐待防止研修

看取りケア研修

年に1回

認知症サポーター養成講座(外部向け)

年に1回以上

認知症介護実践者研修

1名以上

法人研修

3事業所合同勉強会(サルビア居宅、サルビア訪問介護、さんぼみち) 年に数回

長野県宅老所・グループホーム連絡会主催の研修 適宜

4. 年間行事予定

① 季節の行事

繭玉、節分、やしょうま作り、ひな祭り、お花見、七夕飾り、夏祭り、スイカ割り、敬老会、ハロウィン、クリスマス、餅つき、季節ごとに多彩な行事を企画する

② その他

運営推進会議 2カ月に1回(計6回)

避難訓練 年2回

利用者誕生日会

お楽しみ会

介護者の集い(居宅共同) 年1回以上

介護福祉士・社会福祉士養成校実習受け入れ

以上

2025 年度 社会福祉法人梓の郷 経営管理部 事業計画

経営管理課長 高橋 健太

経営企画室長 高橋 優喜

1 運営方針

適正な人員配置と組織機能の充実化を進めます。

2 部署目標及び行動計画

職員の働きやすさ、働きがいに繋がる職場環境の整備と人材育成を目指します。

(1) キャリアパスとそれに連動した研修計画の立案と運用

- ① キャリアパス内容の見直し
- ② 個々の等級、役職に応じた研修の充実と情報提供
- ③ ジェネラリスト育成のための法人内事業所間交流制度の法人全体での展開 しくみの確立
- ④ ③を経ての定期人事異動の運用
- ⑤ ③を経てのリーダー候補の発掘と育成

(2) 人材確保に向けた取り組み

- ① ハローワーク、教育機関等との連携強化
- ② 多様な働き方に対応できる環境の整備と職員への情報提供
- ③ 様々な認証制度を取得することで、職員の働きやすさと法人イメージUPにつなげる
- ④ 他業種・他学部からの人材獲得に向けたアクション(インターンシップなどの有効活用)
- ⑤ 計画的な人材確保に向けた採用計画の運用

(3) 持続可能な法人運営のための取り組み

- ① 経費削減及び費用対効果を念頭に、適切な外部委託の推進および契約内容の見直し
- ② 助成金・補助金の積極的活用

(4) 地域の福祉課題解決に向けた新規事業の検討

- ① 定期的なよりみちでのイベント開催とその場での地域福祉ニーズ発掘体制の確立

(5) 経営管理部内業務体制の見直し

- ① 業務に必要なスキル向上のための研修受講の推進(情報提供)
- ② 業務効率化のためのICT導入・活用方法の検討
- ③ 業務内容の見直しと簡素化・フラット化

以上

2025年度 訪問看護ステーションサルビア 事業計画

訪問看護ステーションサルビア

管理者 忠地 敬子

1. 運営方針

その人が、その人らしく、いつまでも、安心して過ごせるように援助していきます。

- ・利用者の尊厳及び権利を尊重し、利用者の意向や価値観にそった選択ができるよう支援します。
- ・利用者、家族との信頼関係を築き、その信頼関係のもと看護を提供します。
- ・質の高い看護を行うため、専門的知識の向上に努めます。

2. ステーション目標及び行動計画

① 利用者、家族の思いに寄り添った看護の実践。

- ・利用者、家族の意思を尊重し、信頼関係を築いていく。
- ・利用者の思いや、状態の理解に努める

② 症状の悪化を未然に防ぐ。

- ・スタッフ間で、利用者の情報共有を図り、統一したケアが行えるようにしていく。
- ・適宜カンファレンスの実施。
- ・多職種連携を密にし、情報共有を図る。
- ・法人内、外部の研修に参加し、看護の知識、技術の向上に努める。

③ 医療機関との連携を積極的に行う。

- ・利用者の状態に応じ、速やかに主治医へ報告、対応、処置を行うとともに、必要に応じて関係者他機関への情報共有を行う。

④ 訪問看護事業所の安定した運営

- ・訪問件数 月間 210 件
- ・年度内、単月黒字化目標
- ・定期的なクリニック、居宅、地域包括支援センターへの営業
- ・法人内の他事業所との連携による新規利用者の獲得

3. 教育・研修予定

① 全体研修、訓練、

- 感染症対策:2回/年 災害対策:2回/年
- 権利擁護、虐待防止、身体拘束廃止:2回/年
- 認知症ケア:1回/年
- 苦情窓口:1回/年

② 個人研修

- ・チャレンジカードに沿って自己研鑽に努め、個々で外部研修参加
- ・長野県訪問看護ステーション協議会加入
- ・ステーション協議会研修参加
- ・長野県看護協会研修参加

以上